

イーストスプリング インド投資マンスリー

2023年10月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



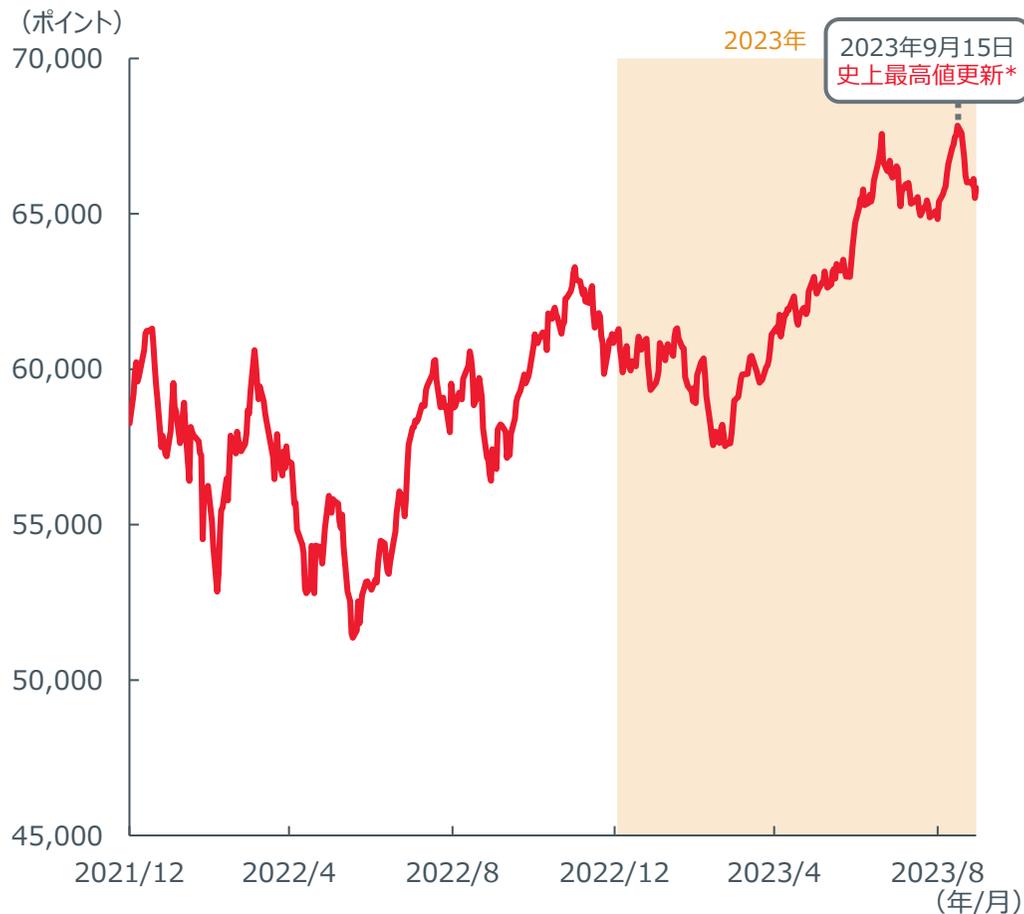
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

株式：堅調なマクロ経済指標を背景に9月も史上最高値更新

SENSEX指数の推移 (2021年12月末～2023年9月末、日次)



2023年9月の振り返り

インド株式（SENSEX指数）は、堅調な国内のマクロ経済指標を背景に、9月15日に史上最高値を更新しました。中型株指数、小型株指数も上昇し、史上最高値を更新しました。

月後半は、高値警戒感から利益確定売りが出たほか、米金利高止まりの長期化懸念で、海外投資家が売り越したことから下落しました。

S&P BSEの主要セクター指数は全て上昇、特に電力、金属、資本財が好調でした。

売買動向では、海外機関投資家が7か月ぶりに売り越した一方、国内機関投資家は先月に引き続き買い越しました。

規模別指数の期間別騰落率 (2023年9月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	1.5%	1.7%	11.6%
中型株 (BSE中型株指数)	3.7%	12.4%	34.4%
小型株 (BSE小型株指数)	1.1%	15.2%	39.3%

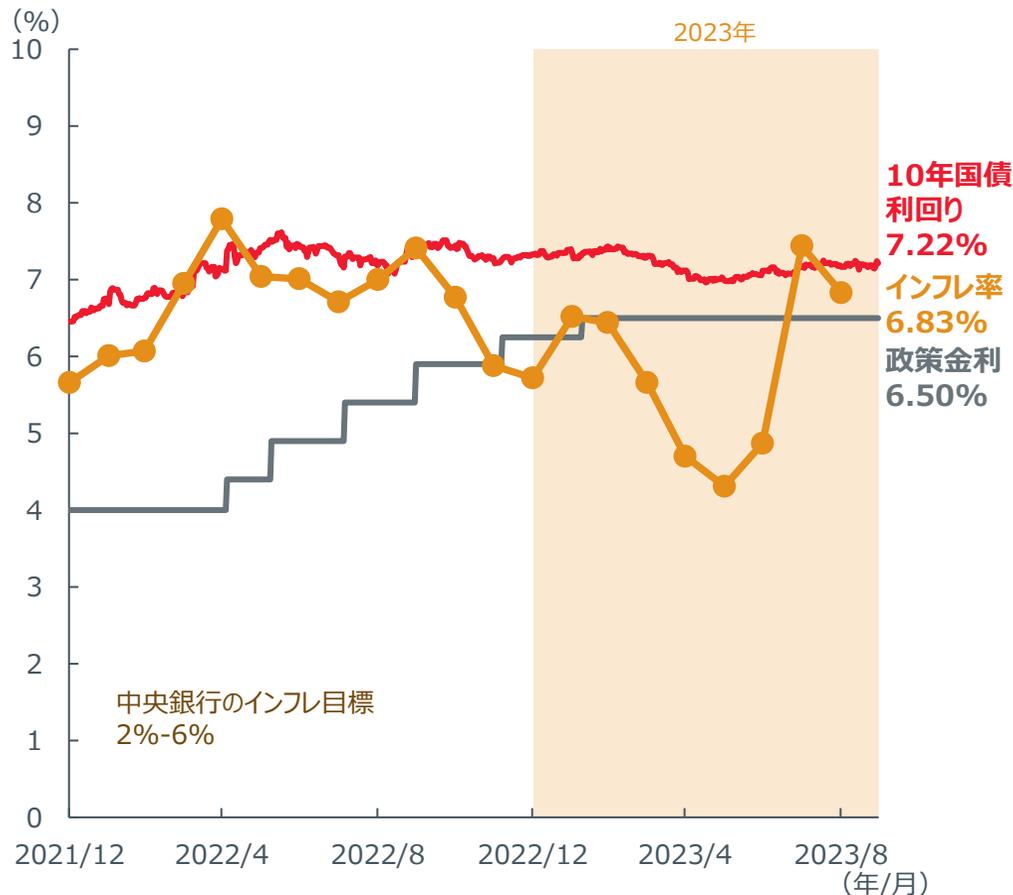
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

債券：インフレ率は低下、10年国債利回りは小幅上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2021年12月末～2023年9月末、日次)



2023年9月の振り返り

10年国債利回りは小幅上昇（価格は下落）し、7.22%で月を終えました。

米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを長期化するとの観測が高まり米国債利回りが上昇したことや原油価格の上昇、週次の国債入札における債券供給量の増加などが要因でした。

米金融大手JPモルガン・チェースが22日に新興国債券指数（GBI-EM）にインド国債を組み入れると発表したことは債券価格を下支えました。

月末には、保険や年金基金からの需要に応えるため、インド政府は初めて50年債の導入を決定しました。

なお、12日発表の8月のインフレ率は前年同月比+6.83%と、7月から低下しました。食料品価格の上昇率が縮小したことが要因でした。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2023年9月末	2023年8月末	変化幅
10年国債利回り	7.22%	7.16%	0.05%
10年社債利回り***	7.70%	7.64%	0.06%
利回り差	0.49%	0.47%	0.01%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2023年8月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドルで下落、対円では上昇

- 9月のルピーは、対米ドルで0.3%の下落、対円では1.8%の上昇となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

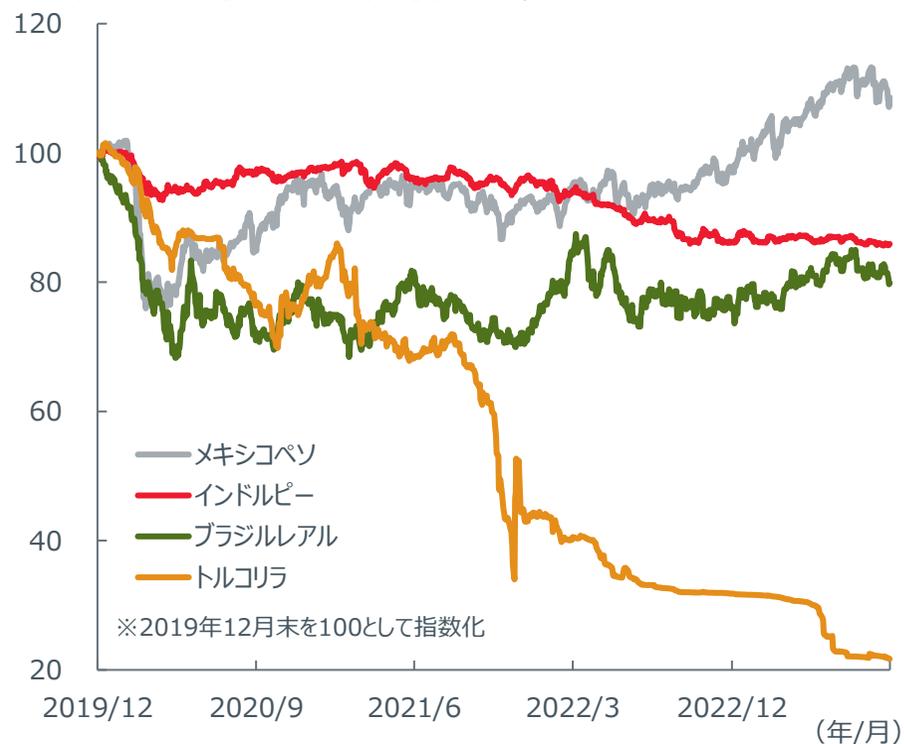
ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2021年12月末～2023年9月末、日次)



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

(2019年12月末～2023年9月末、日次)



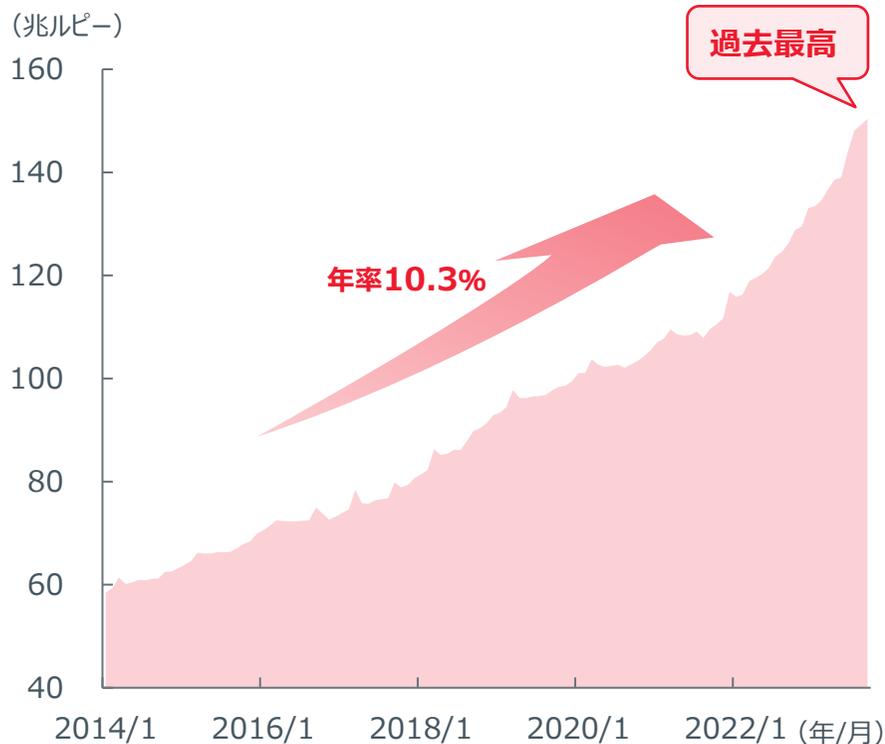
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

高成長を遂げるインドの銀行業 -個人向け融資を中心に増加-

- ▶ 労働力人口の増加や可処分所得の向上を背景に、自動車や住宅の購入意欲が高まっていることから資金需要は増加しており、**銀行の融資残高は過去最高**となっています。

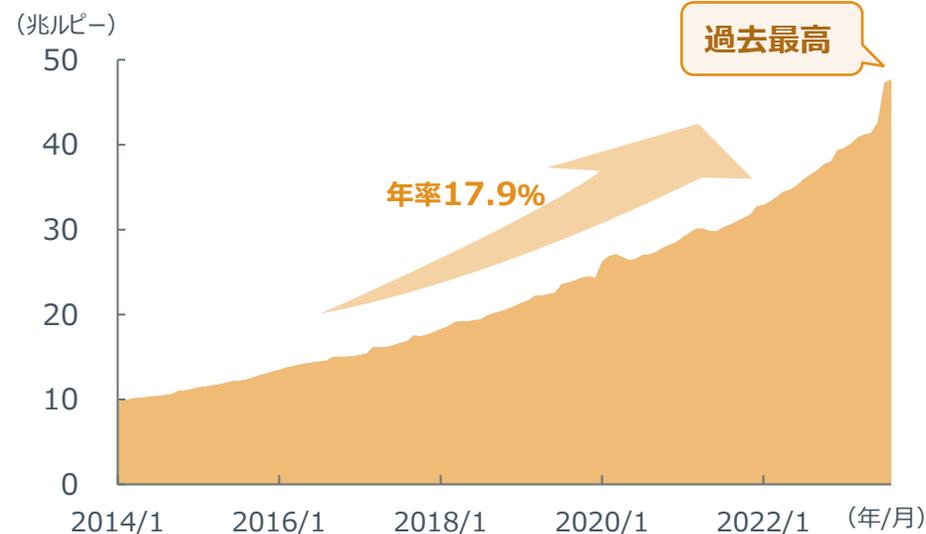
インドの銀行の融資残高の推移

(2014年1月～2023年9月、月次)



インドの銀行の個人向け融資残高の推移

(2014年1月～2023年8月、月次)



融資残高の伸び率	耐久消費財	住宅*	クレジットカード	教育ローン	自動車ローン
年率	7.1%	17.5%	25.2%	6.2%	19.0%

出所：Bloomberg.L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。

*優先セクター住宅を含む。

フェスティバル・シーズン到来、「ガネーシャ祭り」開催

- ◆ 今年もヒンドゥー教のお祭り『ガネーシャ祭り』が9月19日から10日間にわたって行われました。ガネーシャ祭りは、ゾウの頭と人間の体を持つヒンドゥー教の神様「ガネーシャ」の生誕を祝うお祭りで、厄除け等を祈願します。去年に続いて今年も大盛況となりました。
- ◆ 11月にはヒンドゥー教の新年を祝うインド最大のお祭り「ディワリ」が始まります。別名「光のフェスティバル」とも呼ばれており、ディワリシーズンに買い物をすると縁起が良いとされています。特に高価格な**耐久消費財の消費熱が高まる**ため、**企業業績への好影響が期待**されます。



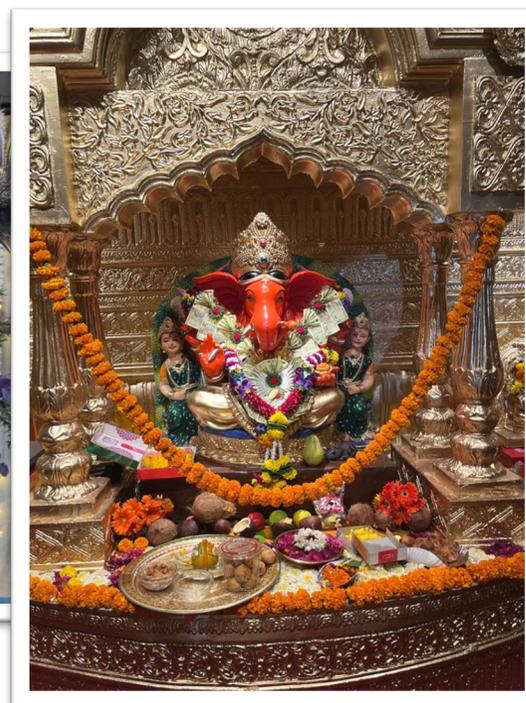
インド最大の商業都市ムンバイ各地で行われた「ガネーシャ祭り」の様子



▲ムンバイのBorivali（ポリバリ）周辺でのパレードの様子



▲ICICIAM社員の家族の家に飾られたガネーシャ



▲ムンバイで最も有名なガネーシャ寺院であるシッディビナヤク寺院のガネーシャ像を真似して作られたガネーシャ
両側の女性像はガネーシャの妻のリディとシディ

出所：ICICIAM、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。